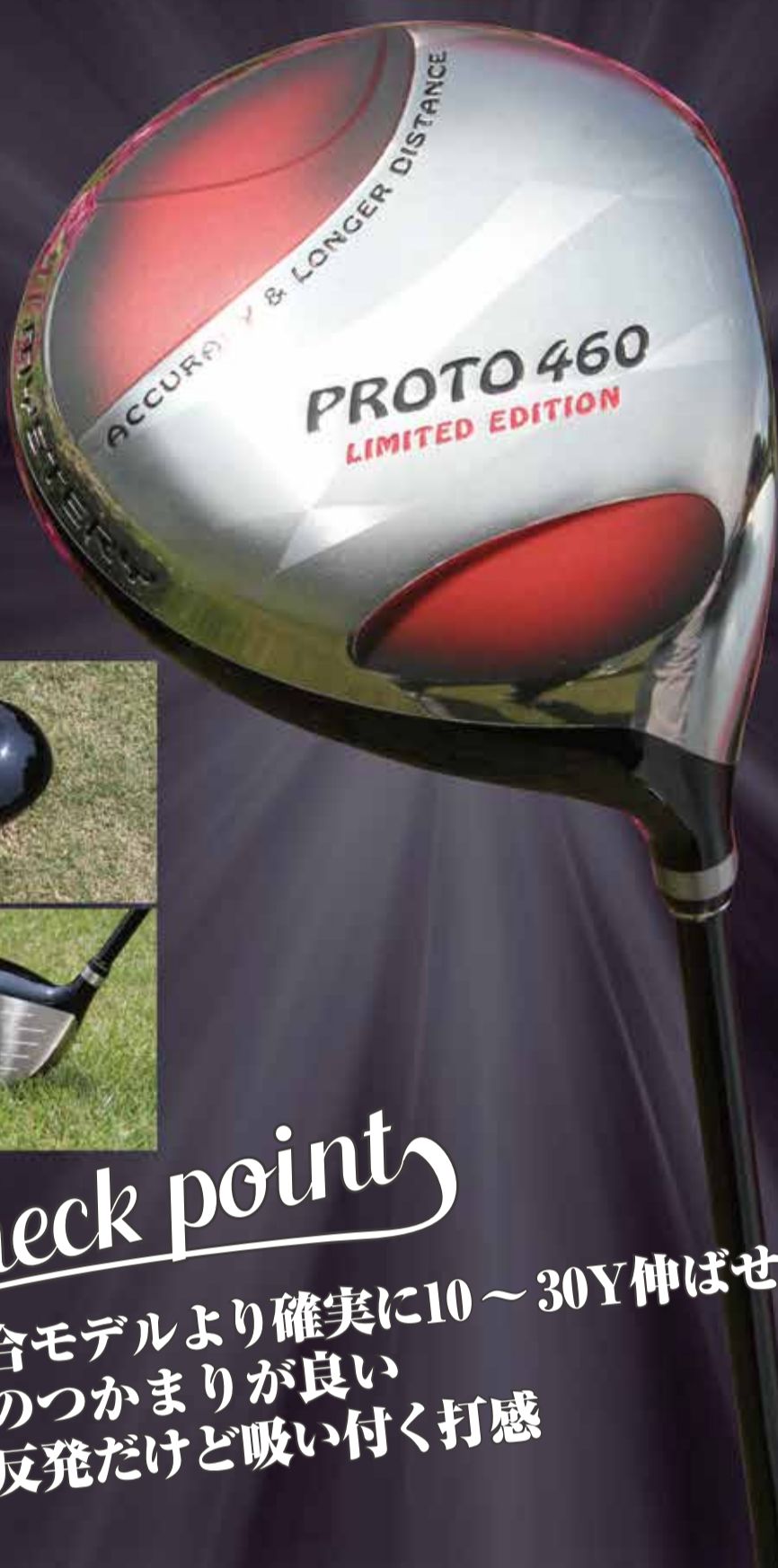




和宏エンタープライズ
MYSTERY PROTO460
LIMITED EDITION



高弾道&ドロローが容易に打てる
夢のある高反発モデル



Check point

- 一 適合モデルより確実に10~30Y伸ばせる
- 一 球のつかまりが良い
- 一 高反発だけど吸い付く打感



「夢のような体験をさせてもらった」とご満悦の塩ジイ

塩ジイの試打インプレッション
■試打クラブ MYSTERY PROTO460 LIMITED EDITION(ロフト角11)+MX-VbyFSP * 45.25インチ、総重量291g

時にストレスを感じることなく上げられるということ。安心感があって良いよね。ヘッド体積は460cm³近くあるけど、見た目よりも大きさを感じさせません。

塩ジイ 最近、また飛ばなくなつてねえ。今回の高反発試打を楽しみにしてたんだよ。まず、『MYSTERY PROTO460リミテッドエディション』の構えた印象は、非常にアドレスがしやすいという点。形状は洋梨型。70歳超のゴルフア

実際に打つてみると、スイートエリアでボールをとらえた時

『MYSTERY PROTO460リミテッドエディション』は、この形でゴルフを始めた人が多いから、違和感なくスツとアドレスに入れるんじゃないかな。つまり、テイクバック

試打クラブの装着シャフトはFSP社製「MX-V」(硬度F1)で、クラブ振動数は188rpm。非常に柔らかい設定だけど、実際に振るとヘッドがしつかりついてくるから不思議。頼りない印象は全くなく、しなり戻りが俊敏かつ、ミート率の高いシャフトといえます。

の感触が非常に印象的。野球のバッターがホームランを打った時によく「感触がなかった」と言いますが、まさに『MYSTERY PROTO460リミテッドエディション』はそのような感覚。スイートエリアが広い証

で、反発力が全てボールの飛ぶ方向へ加わっているんだな。高弾道でボールも良く飛んでるね。我々の年代になると中弾道のドロローボールでランを稼ごうとする人が多いけど、このドロローボールに持ち変えるだけで、高弾道のドロローボールが容易に打てちゃう。高反発モデルだけに、吸い付くような感触があるから、球もしっかりつかまって、安定したドロローボールが打てますよ。

私のドライバーの飛距離は普段175Y前後。今回の計測結果(ベスト)はHS7m/s、キャリー182.1Y、トータル204.5Yで、200Y超えを連発。夢のような体験をさせてもらったよ。フィッティング次第では20~30Yは軽く伸ばすことが出来るんじゃないか?

年齢を重ねるにつれ、ドライバーの飛距離は落ちる一方だけど、このクラブでもう一回ベ

トスコアに挑戦してみたいね。球が飛ぶとゴルフが楽しくなるからラウンド回数も増えそう。

商品DATA

和宏エンタープライズの『ザ・ミステリーシリーズ』は、細かなディテールまで、しっかりと、完成度の高いモノづくりで全国の工房・ショップから信頼を寄せられているコンポーネントブランドだ。ロフトはすべてリアルで管理され、1個1個実測の上、出荷されている。

その会社が放つ2017高反発ドロローボールが『MYSTERY PROTO460 LIMITED EDITION』。基本形状とボディ素材はルール適合の『MYSTERY PROTO460 TOUR LIMITED』に準じるが、高反発素材DAT55Gの極薄フェースにレーザーミリン

グ加工を施すことで、よりソフトな打感を可能にしている。CORO・85超の高反発性能を備えた明らかに飛びに特化したモデル。

CARRY	TOTAL	SIDE
182.1 yds	204.5 yds	29.8L yds
ATTACK ANG.	FACE ANG.	LAND. ANG.
5.4 deg	-8.0 deg	34.5 deg